

地域リハビリテーションの現状とこれから ～介護予防事業の事例を通して～

皆さん、『地域リハビリテーション活動支援事業』をご存じでしょうか？

市町で実施されている介護予防事業においてセラピストが公民館等に出向き地域住民の方を対象に介護予防講座を実施したり、地域ケア会議に専門職として参加したりしています。また令和2年度からは、『高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施』が始まり、地域住民のフレイルを予防すべく、セラピストの積極的な関わりが求められています。今回は、加西市と三木市の介護予防事業の事例を通じて、リハビリ専門職としての役割や今後の展望について、一緒に考えてみませんか？

◇北播磨圏域における地域リハビリテーションについて
北播磨圏域リハビリテーション支援センター

◇各市における地域リハビリテーションの現状と課題

加西市： 畠 康博氏（市立加西病院訪問看護ステーション 理学療法士）

三木市：吉原 拓平氏（三木市役所・介護保険課 理学療法士）

ハイブリッド開催
参加費無料！

日時 2022年 6月16日(木) 18:30～20:00

開催方法 ハイブリッド開催

会場：小野市うるおい交流館エクラ・大会議室 または オンライン(ZOOM)

対象

北播磨・丹波地域で勤務されているリハビリ専門職
※新入職や地域リハ未経験の方も是非ご参加ください!!

申し込み
方法

下記申し込みフォーム、またはQRコードから、お申込みください

<https://forms.gle/MkjmjRnDri8J3LDdA>

申込み締め切り：2022年6月10日(金)まで



※研修の詳細につきましては、お申込み時にご入力いただいたメールアドレス宛に6月13日(月)にご連絡いたします。

本研修に関する
お問合せ先

北播磨圏域リハビリテーション支援センター事務局
(医療法人社団栄宏会 土井病院内) 担当：奥野・藤本

TEL:0794-66-2119

✉ hokubanriha@yahoo.co.jp